



Appoggio

(アポージオとはイタリア語で、支援・応援を意味する言葉です。)

令和7年3月発行

編集・発行 みやぎ地域づくり団体協議会石巻支部



令和6年度石巻支部交流事業 「講話×交流イベント」を実施しました



講話の様子



交流会の様子

令和6年11月13日に、令和6年度石巻支部交流事業「講話×交流イベント」が実施されました。木村支部長、石巻千石船の会、石巻骨髓バンクの会、NPO法人ひたかみ水の里、NPO法人放課後こどもクラブBremenにご参加いただきました。

前半は「震災後の地域づくり これまでとこれから」というタイトルで、特定非営利活動法人いわて連携復興センター代表理事の葛巻様の講話を聴講しました。復興を通じて培ったノウハウ・ネットワークを地域づくりに活かしていく大切さやその具体例について学びました。

後半は交流会として、「団体紹介シート」を見せ合いながら、各団体の活動紹介を行いました。また、今後行ってみたい活動や活動における課題などの共有を行いました。異なる活動をしていてもフィールドが重なる部分があり、賑やかな交流会となりました。



各団体の活動について紹介しました！



令和6年度みやぎ地域づくり団体協議会研修会 が大崎市で実施されました



令和6年11月29日に、みやぎ地域づくり団体協議会の県内団体を対象にした研修会が大崎市で実施されました。

あら伊達な道の駅で昼食の後、鳴子温泉もりたびの会より「人と地域の個性を活かしたまちづくり」と題した講演を拝聴しました。人口減少が進む地域だからこそ、逆転の発想で新しい価値を体験したい人が集まる地域を目指しているというお話をいただきました。

その後地元木材を使用し、木質バイオマスエネルギーを使って冷暖房を行っている「鳴子こども園」を視察しました。

最後に「これからの地域づくりに欠かせない2つのこと」と題してNPO法人おおさき地域創造研究会の赤坂様よりご講話いただき、AIを活用するなどの新しい課題解決の手法を学びました。



◀こども園を見学



◀講話の様子

令和7年度 助成金の申し込みを受け付けています



- ・地域づくり団体活動支援事業
- ・地域づくり団体クラウドファンディング活用支援事業

地域づくり団体協議会が実施する上記の助成金について、令和7年度分の申請を受け付けています。

詳細及び申請様式等は宮城県地域づくり団体協議会石巻支部のホームページに掲載しました。助成対象団体は一般財団法人地域活性化センターの賛助会員(年会費3,000円)である必要があります。

助成金の累計が予算額に達し次第受付を終了するため、申請を希望する団体は早急に連絡、申請を行ってください！

みやぎ地域づくり団体協議会石巻支部

詳細及び申請様式は検索！



女川・光太郎の会が 住みよいみやぎづくり功績者表彰を受けました！

地域社会への貢献に対し、知事の感謝状を贈呈する「住みよいみやぎづくり功績者表彰」を「女川・光太郎の会」が受賞し、宮城県東部地方振興事務所長より感謝状が贈呈されました。

本団体は、彫刻家・詩人の高村光太郎の顕彰活動を行う団体です。女川を訪れ、数々の詩や紀行文などの作品を残した高村光太郎を顕彰するため、平成3年、一口100円で町民等から広く募金を集め、高村光太郎の紀行文等が記載された巨大な文学碑と二つの詩碑を女川港に建立しました。翌年からは、「光太郎祭」を毎年開催し高村光太郎にまつわる記念講演、ギタリスト及びオペラ歌手による献奏・献歌、地元の小学生らによる光太郎作品の朗読などを通じ、若者への文化の継承を図ってきました。

東日本大震災により文学碑は津波に流されてしまいましたが、令和2年に復旧されました。震災後の光太郎祭は、野球グラウンドで仮設テントを設置したり、商店街の中で実施したりしたこともあったそうです。震災を乗り越えた光太郎祭は、昨年で33回目を数え、毎回女川町内に限らず、広く県内外から参加者が集まっています。

事務局の佐々木さんは、「ギターの演奏にのせて参加者が好きな詩を朗読できたり、オペラを聴けたり、このような光太郎先生のイベントは他にないと思います。今年は若い方にもたくさん参加してもらいたい。」と話してくださいました。

今年の光太郎祭も、例年通り令和7年8月9日に実施予定です。女川の文化に触れる「光太郎祭」に、是非参加してみたいはいかがでしょうか。



◀会長に感謝状が贈呈されました

昨年の光太郎祭の様子▶



NPO法人放課後こどもクラブBremenが 保土ヶ谷基金 活動賞を受賞しました！

NPO法人放課後こどもクラブBremen（以下Bremen）は、福祉事業として放課後や長期休業中の子どもを預かる放課後子どもクラブを年間280日以上開設しています。福祉事業だけでなく、教育事業として年間35回程度、石巻市放課後子ども教室を実施しており、今年で8年目になります。

本表彰は男女共同参画社会の推進と少子化対策に貢献する活動を顕彰するもので、震災後から、児童の心のケアや働く保護者世代の就労支援など、地域に求められる活動を地道に継続してきたことが評価されました。



Bremenが大切にしているのは、「子どもの最善の権利を擁護し、社会を支える人材の健全育成」です。そのために子どもには「遊び」「学び」「体験」を十分に保障しています。インクルーシブ保育や外国にルーツのある児童への支援も行っています

働く保護者には、安心して子育てできる送迎や延長保育、教育相談活動などのサービスを提供しています。また、経済的格差の為に体験活動が十分に言い出せないお子さんの為に、石巻市生涯学習課の事業で「放課後子ども教室」を実施していますが、そこでは、地域の方々のご協力をいただきながら、月見団子づくりやボルダリング遊び、日和山歴史散歩など多様な活動を実施しています。その他にも無料の学習支援など、たくさんの活動を行っています。

放課後児童クラブは、「生活の場」での遊びを通して児童を健全に育成する場ですので、日和山の空き家の中古住宅を施設としてリフォームし、自宅にいるかのような安心感を感じることができるよう工夫しています。



代表の寶さんは「これから人口減少で大変な世の中になっていく。安心できる環境を用意して、たくましく生きていける子どもを育てていきたい。」と話します。地域づくり団体の皆様には、「みんなで力を合わせ、少子化問題に取り組んでいきましょう！」というメッセージもいただきました。

★団体紹介★

大塩自治協議会

今回は、東松島市大塩地区の地域自治組織である大塩自治協議会（以下「協議会」）を御紹介します。

大塩地区の小松台団地は、当初県内外から移住してきた市民が「里づくりをしよう」と一致団結し地域づくりに協力して取り組んでいた地域です。しかし、近年は高齢化が進み活動もマンネリ化して、若手住民の参加が減少してきました。イベントを実施しても昔からの同じ顔触れで、スポーツ大会では選手が足りず開催を断念することもあったそうです。

そこで、まずは地域の若手との接点を作ろうと、地域の若手住民をリストアップして、挨拶やちょっとした会話をするようにしたのです。その立ち話の中で、イベントを紹介したり参加を促すようにしたのです。すると、その後のソフトボール大会ではそれまで見られなかった顔ぶれが参加し、新しい時代の幕開けとなったそうです。その後も継続してイベントにも参加し、役員の手助けをしてくれるようになりました。

そんな中、若手から地域で「ソフトボール部」を設立したいとの相談があり、事務的な部分は会長が全面にフォローし、先に立ち上げていた「若手会員事業」の一環として活動することにしたそうです。若手の「地域でやってみたい！」という気持ちを大切に、形にすることができました。

会長の相澤さんは、「若手自らアイデアを出してくれるのはとても嬉しい。ちょっとした挨拶など顔の見える関係づくりが持続的な地域づくりになる。」そして「“勧める事業”よりも“見守る事業”に舵を切り替えた。」と話してくださいました。

春は花まつり、夏はスポーツ大会、秋はゴルフ大会に冬はイルミネーションなど、イベントが目白押しの大塩地区。地域づくりの思いは、次の世代へ引き継がれていきます。



▲ooshioぐるみネーション2024の様子

◀令和6年度大塩地区ふれあい花まつりの様子

イベント・お知らせ情報募集

会員の皆様から寄せられたイベントやお知らせ、活動情報等を県のホームページへの掲載やメールで周知し、皆様の地域づくり活動を支援します。

次回の情報紙は、令和7年9月発行予定です。

ホームページや情報紙への掲載希望がありましたら、事務局まで御連絡ください。

登録情報の変更について

代表者及び御担当者、連絡先等に変更があった場合は、指定様式で届出が必要です。事務局まで御連絡ください。

みやぎ地域づくり団体協議会石巻支部事務局

宮城県東部地方振興事務所地方振興部内

担当：藤城

TEL：0225-95-1767

FAX：0225-95-1471

E-mail：et-sinbk2@pref.miyagi.lg.jp

HP：

<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/etsgsin-e/tiikidukuri.html>